

仏教勉強会のご案内

「仏教に興味がある」「写経や写仏をやってみたい」「大松院にお参りしてみたい」という方はどうぞお気軽にご参加ください。

◇場所 大松院

さいたま市浦和区東高砂町19-4

◇日時 月1回 日曜日 午前10時半〜12時

◇問合わせ先 大松院 担当 小林智観

☎048-882-9205

2月9日「お釈迦様の言葉（法句経）を読む」

3月9日「写経」

4月13日「不動明王について学ぶ」

5月12日「深川不動尊 参拝」

6月8日「お釈迦様の言葉（法句経）を読む」

9月7日「写仏」

5月12日（月）の深川不動尊 参拝だけの参加も可能です。ご希望の方は、4月30日までに大松院までご連絡ください。参加費は無料です。4月13日の勉強会は深川不動尊の御本尊、不動明王様について予習もかねて学びます。ご参加の方はできればこの日の勉強会にもご出席されることをおすすめいたします。

※個別の写経、写仏も随時受け付けております。

ご希望の方は、大松院まで

ご連絡ください。

※初めてご参加される方は、

右記 問い合わせ先の電話

番号までご連絡ください。



【年間管理費の引き落としについて】

毎年12月1日（1日が休日の場合は、金融機関の翌営業日）に翌年分の年間管理費を引き落としさせていただきます。何らかの事情でお引き落としできなかった場合は、管理事務所からお知らせをお届けしております。その際には、ご案内の口座にお振込みいただくか、管理事務所まで直接お支払いいただきますようお願いいたします。

【お墓じまいのご案内】

お墓を継いで下さる方がいない場合やご子息に負担をかけたくない等、お墓じまいに関するご相談が増えております。区画によってはお墓の撤去や石の処分費用が必要になります。ご先祖様のご遺骨は、阿字の古里へ合祀も可能です。お一人様（一霊）5万円〜になります。将来のご心配をするよりも、まずはお気軽にご相談下さい。墓地、墓石に関することは浦和霊園管理事務所まで。

☎048-812-1121

【お墓の化粧石交換のご案内】

お墓の化粧石が汚れていませんか？ご先祖様の眠るお墓はいつも綺麗で有りたいものです。墓石掃除はお墓参りの度に行っても化粧石までお掃除するのはとても大変です。化粧石の交換をお考えの方は、お気軽に浦和霊園管理事務所までご相談下さい。お見積りをお渡し致します。

☎048-812-1121

令和7年行事予定

○節分追儺式
1月26日（日） 11時

○合同慰霊祭
7月13日（日） 11時
8月13日（水） 11時

○送り火の夕べ
8月15日（金） 17時半

令和7年回忌表

1周忌	令和6年
3回忌	令和5年
7回忌	令和元年 (平成31年)
13回忌	平成25年
17回忌	平成21年
23回忌	平成15年
27回忌	平成11年
33回忌	平成5年
50回忌	昭和51年



↑浦和霊園公式HP



↑大松院Facebookページ



浦和霊園だより

VOL. 31

令和6年12月号

TEL 048-812-1121

FAX 048-878-7272

編集者

副住職 三浦清志

ご挨拶



おおまつ 小松院住職

小林智観

今年も残すところ、あとわずかとなりました。令和六年は元旦の能登の地震に始まり、日本国内外で数多くの困難が続いた年となりました。未だ苦しみの中におられる方々に一日も早く平穏な生活が戻りますようお願い申し上げます。

さて毎年この時期になりますと、一年というのは早いものだとしみじみ感じます。忙しさに追われて気がつけばもう師走。周りの人や状況に流されて、何の成長もないままただ一年が過ぎてしまったと反省するのですが、私がそのような時に、基本に立ち返り、気持ちを切り替えるために思い出すお釈迦様のお言葉がございます。本日はそのお言葉をご紹介させていただきます。

うず高く花を集めて
多くの花飾りをつくるように、
人として生まれまた死ぬべきであるならば、
多くの善いことをなせ。（法句経 五三）

このお言葉は、お釈迦様のお言葉を忠実に伝えると言われる「法句経」というお経に書かれて

いるものです。
人として生まれたならば、一つでも多くの善いことをしなさい。

子供でも分かる当たり前のことですが、それが日頃できているかと言われると、胸を張ってできていると言える人は少ないのではないのでしょうか。私達は日々の生活の中で色々なことがあつて、何が正解なのか、自分はどうすべきだったのか分からなくなることがあります。身の回りに起こる出来事は、様々な要因が複雑に絡みあい、一筋縄では解決しないこともたくさんあります。そして考えれば考えるほど答えが分からなくなる。

しかしこの言葉が教えてくれるように、ものごとは案外シンプルなことなのかもしれません。「子供の頃、野原に咲く小さな花の美しさに目を輝かせたように、タンポポやペンペン草を、大切な誰かの喜ぶ姿を思い浮かべながら摘み集めたように、小さな優しさの花を摘み集めること、それこそが人として生まれ、限りある命を生きる意味なのだ。生きるとはそういうことなのだよ。」そのようにお釈迦様は教えてくださっているのではないのでしょうか。

人生は色々なことがあります。迷い苦しみ、ふがない自分責めしてしまうことも、また世俗的な利益や名声欲などに踊らされて自分を見失ってしまうこともあります。そんな時こそ「生まれてきたからには、善いことの花、皆が幸せになる優しさの花を集めなさい。」このお釈迦様の教えを思い出し、心の拠り所と

仏教勉強会のご案内

本文でご紹介いたしました「法句経（ほつくぎよう）」を、本紙の四ページにてご案内しております。「仏教勉強会」で読んでおります。「法句経」で語られるお釈迦様のお言葉にご興味のある方は、ぜひご参加ください。

暮らしの中の仏教用語

「内証」（ないしよう）

現在では、「内緒」（ないしょ）という言葉になっで使われています。「この話は、私とあなただけの内緒ね」などと言って、他人には言わないで秘密にしておくという意味で使われています。『ないしょ、ないしょ、ないしょのはなしは ああねのね？』という歌を子どもの頃に唄った方もいらっしゃるのではないのでしょうか？元来は「内証」または「自内証」（じないしよう）と言って、自分自身の内面に真理を得たことを指しました。外見からは真理を得たかどうか、なかなか知ることが出来ないのです、内密や秘密といった意味に変わって言ったのだと考えられています。



十三仏について ⑥

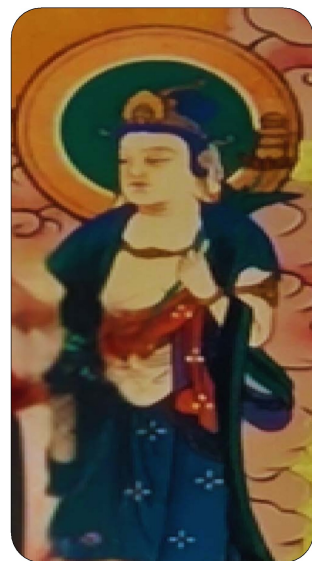
十三仏とは、初七日忌から三十三回忌までの間、故人を守護し、お導きくださる仏様です。故人は各忌日ごとに配された十三の仏様の功德をいただきながら、最終的には仏様となって子孫を守ると考えられています。その十三仏についてシリーズでお話させていただきます。



十三仏

【六七日忌 弥勒菩薩】

今回は、六七日忌の御本尊「弥勒菩薩」です。この仏さまは、お釈迦さまがこの世を去られた後、五十六億七千万年後にこの世に現れ、悟りを開き、多くの人々を救済するとされています。それまでは、天界にある兜率天という場所での修行（あるいは説法）しているとされています。梵語では「マイトレーヤ」と言います。語源は慈しみを表す「マイトリー」から由来しています。そこから「慈氏菩薩」とも呼ばれています。中国や朝鮮、日本では、いわゆる救世主として大変昔から信仰を集めたと言われています。真言宗の開祖 弘法大師 空海は、



弥勒菩薩

高野山の奥の院にご入定されるときに「われ、閉目ののちは兜率天に往生し、弥勒慈尊の御前に仕え、五十六億余年ののち、必ず慈尊とともに下生せん」と弟子たちに遺言されたと伝えられています。いずれにしても、衆生済度を願う仏として、この六七日忌に弥勒菩薩が配されたのは、かの浄土へ向かう故人も、またこの世にある我々も、自分のことだけでなく他者への慈悲の心を養うためなのかもしれません。

(次回 七々日忌 薬師如来へ続く)
三浦清志 記

「合同慰霊祭・送り火の夕べ」ご報告

毎年 皆様と一緒に盆の供養として合同慰霊祭と、送り火の夕べを開催いたしております。今年も大勢の方のお参りをいただきました。ご参加いただいた皆様には、大変お世話になりました。合同慰霊祭は、お盆を迎えるにあたり、新盆の仏さまや、ご供養されたい精霊のお位牌をお持ちいただいて、盆供養として行っている

法要です。7月13日と8月13日に行っております。また、送り火の夕べは、開園以来毎年皆様とご一緒に、ご先祖様が仏さまの世界にお戻りになるのをお見送りしている、他には見られない浦和霊園独自の行事です。お焚き上げの火は、毎回天高く舞い上がり、皆様のご供養の気持ちに通じたなと思える時間です。とても有難く感じいております。毎年行っておりますので、多くの皆様のお参りをお待ちしております。

合同慰霊祭



送り火の夕べ



節分追儺式のご案内

恒例となっております新年の節分追儺式（豆まき式）を開催いたします。暦ではいわゆる立春から本当の新年が始まるとされています。霊園では、毎年本来の節分の前に、豆まきを皆さんと一緒に盛大に行って、厄払い・開運をお祈りさせていただいております。たくさんのお豆を持ち帰っていただき、ぜひご家庭でも賑やかに豆まきを行っていただきたいと思います。お申し込みは、この霊園だよりに同封いたしました別紙の申込用紙にて管理事務所までお申し込みください。大勢の方のご参加をお待ち申し上げます。

もしもの時は…

もし、大切なご家族にご不幸があった時は、まずは、霊園管理事務所にご相談ください。ご葬儀の手配やご葬儀後の手続きなどについてご案内致します。また、生前戒名のご希望や、葬儀は俗名で行ったが、戒名を授与してほしいなど、ご供養に関するお問い合わせも受け付けております。まずは、お気軽にご相談ください。お問い合わせは管理事務所まで。



ご詠歌で健康に！仲間募集中！

ご先祖様の供養のために、また、ご自身の信仰を深めるために、ご詠歌をお唱えしてみませんか？ 唄うことは、のどが鍛えられ、肺活量が増えます。ひとつの健康法になることでしょ。現在、月に一度 本院 大松院にて練習会をしています。ご希望の方があれば、霊園でも開催したいと考えています。興味ある方は、一度聞いただけでも結構です。お気軽にお問い合わせください。

◇問い合わせ先 管理事務所
担当 三浦清志



副住職の修行体験記

去る十一月二十五日から二十八日にかけて、ベトナム タムチュック寺院において、柴灯大護摩供の法要に出仕してまいりました。埼玉県本庄市にある大恩寺住職でベトナム人のタムチー師の依頼で、天台宗・真言宗の僧侶合わせて8名でお勤めしてまいりました。ベトナムでおそらく史上初の火渡り修行だったようで、大変多くの方がご修行されました。また、法要後は、ハノイ中央仏教会の方々とも交流でき、大変有意義な日々を過ごさせていただきました。



皆さまのお越しをお待ちしております